



パワー

(電力・動力)

1999

春

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙38号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市上鶴間1丁目11-1
電話 042(746)1616(代)
発行責任者 本間俊三

環境ISO14001 取得の動き広がる

環境管理の国際規格「ISO(国際標準化機構)14001」に対する関心がここ一、二年、にわかに高まってきました。同規格の認証取得で何がどう変わるのか、企業の動きや自治体の取り組みについてその動向を追ってみました。

注目された 環境管理の国際規格

一九九二年の地球環境サミットを契機に、地球環境問題への取り組みが世界的に活発になり、中でも環境への影響が大きい産業界に対して、環境管理の強化を求める声が高まりました。これを踏まえて企業の自主的な取り組みの枠組みを作る方法として、環境管理に関する国際標準規格化がISOを中心に進められ、一九九六年九月にISO14001が発行されました。

グローバルスタンダードとしての 環境管理・環境監査制度

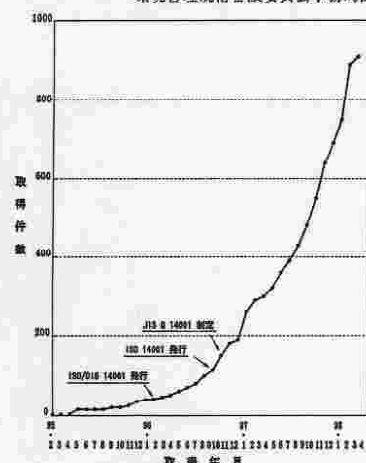
産業技術や金融といった幅広い分野で、世界共通のルールを作ってそれに従ってビジネスを進めていくこととする潮流があり、環境問

題でもこの潮流に乗った国際規格化が進められたのです。

環境に関する価値観の変化

取引先や行政、NGO(民間公益団体)などから、環境保全への対応を取るよう要請されたり圧力を受け始めた企業が多くなってきました。このことは、環境保全に取り組むことで持続的に発展できる経済社会づくりが進行しつつあることを表しています。

ISO14001審査登録推移状況(平成10年4月末現在)総数924件
環境管理規格審議委員会事務局調べ



地球環境問題は、世界各国が公平に役割分担するべきであるとの認識の高まりを示すものです。

導入目指す自治体の動き

前記規格の認証を取得した自治体は、新潟県上越市、千葉県白井町が知られており、取得を目指している自治体として京都府、大阪府があり、仙台市、大阪市、北九州市が目下、準備をはじめています。県内では横須賀市が具体的な取り組みを始めました。

いよいよ相模原市も

九月定例会において市政クラブ本間としどう議員の質問に対し市長は「ISO14001一認証を取得することは、自治体自らが環境問題に自主的、積極的に取り組む有効な手段と認識しており、今後取り組みを進めてまいりたい」と答弁されました。今後大いに注目していきたいと思えます。

1999年 年頭 あいさつ

代表取締役
本間俊三

新しい年を迎えて早くもひと月が過ぎました。皆様におかれましては、ご清祥にて輝かしいよい年をお迎えのことと存じます。

よつか。当地相模原では、かながわゆめ国体・夏の大会メイン会場として、立派にその役割を果たしたことが挙げられます。さて、今年がどのような年になるか、市民・国民の最大の願いは経済の活性化、すなわち景気の回復にあることでしょう。政府もそ

不況にこそ道を開く新たな発想



不況からくる企業のリストラなど暗い話題に明け暮れ、今年こそ景気回復の兆しがほしいものだと思っておりますが、今年もまた同じ思いであります。

の辺りは十分承知して景気の下げどまりを強調し、秋ごろの回復見通しを示しております。しかし、アメリカより高くなったといわれる失業率、金融機関の抱える不良債権、個人消費の低迷などさまざまな指標には、景気回復への道のりの困難さが伺えます。

先日、住宅・マンションのメンテナンスや営繕工事を営む会社が主催する、習詞交換会に出席する機会がありました。同社の社長のスピーチの中に、自社をサービス業と位置付けているくだりがありました。建設業としてでなくサービス業と位置付けることにより、困難な中にも新たな発想が可能となり、事業展開にも新しい道が開けてくるものと大いに感得するものがありました。

ホンマ電機におきましては、既に電設工事とその保守点検というサービス業の両立を図ってまいりましたが、今後とも新たな技術の導入とともに、サービス部門のさらなる充実を目指してまいり所存であります。

お知らせ

和やかに新春の集い



本間としどう後援会
和やかに新春の集い

同士が親睦を深め、団結と必勝を誓い合いました。



後援会の人々と楽しく新年を祝う

年末恒例の餅つきパーティー

年末恒例の餅つきパーティーを昨年十二月二十八日に行いました。暮れの仕事納めと社員のレクリエーションを兼ねたものです。15キロのつきたての餅や豚汁などを頂きながら一年を振り返り、ゆく年の締めくくりとしました。



餅つきパーティーで年を締めくくる

近況報告

このイメージマークはサービスマークとして登録されております。



BUSINESS フィールド

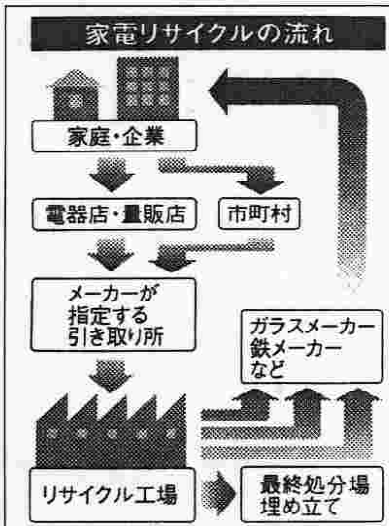
東林間店 マキシムナカイ 改装によるエアコン更新

創業二十四年になる同店が平成十年十一月二十六日、新装オープンしました。店内の改装に合わせてエアコンも全面入れ替えしました。従来のエアコンはガスヒートポンプ式で、動力源にエンジンと都市ガスを使う方式でした。しかし音や振動が大きく、メンテナンスに費用がかかっています。今回それらを解決し、電気を熱源とするヒートポンプエアコン・スーパージンエアコンを採用しました。これは電気代が従来機の半分以下という優れたもの。新店舗にマッチしたインテリア性は、同店主にも十分満足頂けたようです。



更新したエアコン

新店舗のインテリア性にマッチ



準備の段階であり、製造業者や輸入業者あるいは市町村としても、早急な法整備を待っているところと見えます。

家電リサイクルの実証プラントは茨城県那珂郡にあり、プラントの処理能力は、年間約

十五万台で全国発生量の約一割にあたり、概ね百万人都市対応型の大プラントです。既に実証実験処理台数約二万台の予定を消化して、二月で実験を終了することになっています。しかし現時点では、この先の見通しは明らかになっていません。

家電リサイクル 実証プラント

急がれる法整備

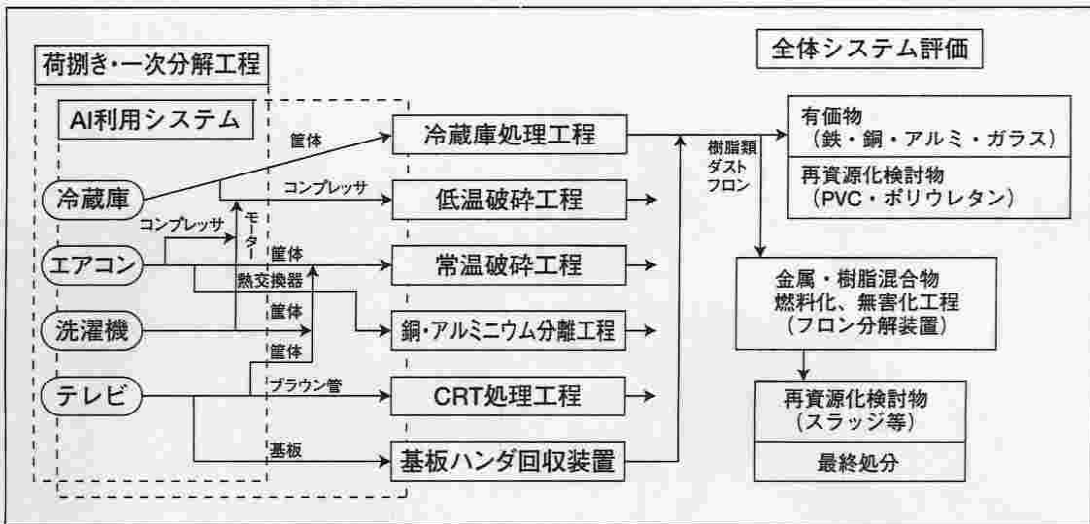
同協会では、全国四十七都道府県に廃家電品適正処理協力センター支部を設置し、小売業者や自治体に対して回収の指導や支援、実態調査を行っています。

適正処理協力センター

家庭から排出される廃家電品約二千万台のうち八割を冷蔵庫・テレビ・洗濯機・エアコンの四品目が占めています。財団法人・家電製品協会ではかねてから、この主要四品目に焦点を当て、適正処理の推進に取り組んできました。

廃家電適正処理の動向と課題 その(三)

「廃家電品一貫処理リサイクルシステム開発」の全体基本プロセスフロー



● 企業ルポ

● お客様紹介 ③7



株式会社コープフーズ

海老名工場 海老名市本郷2696
ISO14001認証取得 ☎(0462) 38-6000 FAX.(0462) 38-6177



取締役工場長
田畑 孝氏

コープフーズ瀬谷工場(本社)
コープフーズ吉田工場



海老名工場



工場内の包装工程

株式会社コープフーズ
海老名工場
・開設 1985年6月
・資本金 3億円(3工場)
・供給高 81億円
・従業員数 370名(パートを含む)
・事業内容 水産・畜産・麺の加工、包装

(株)コープフーズは生活協同組合連合会ユーコープ事業連合の関連会社です。生鮮加工工場として現在、瀬谷工場・海老名工場・吉田工場の3工場があり、水産品・畜産品の製造を行っています。海老名工場のみ麺類も製造しています。同工場の生産能力は水産・日産56,000パック、畜産・日産67,200パック、製麺・日産90,000食です。コープ直営の利点を生かし、原料から製造まで一貫した品質管理や、コストダウンによる商品の低価格化、加工技術の革新などを図り、

品質・味・流通など組合員のニーズに対応しています。特に同工場独自の製品・麺は色・味・食感など、製造工程において様々な工夫や改善がなされ、また、新商品の製造も目指しています。

コープフーズでは「地球規模で考え、地域から行動を」の考えのもとに、91年から「エコロジー・アクション・プログラム」を作成、環境管理活動を推進しています。

同工場は開設当時から有毒ガスの発生しないポリエチレンフィルムの包装材の採用、ごみの減量化、排水管理などを行い、また環境配慮型商品の開発などに取り組んできました。96年にユーコープより「環境マネジメントシステム」のモデル指定を受け、社会から認められる環境管理活動を開始しました。ISO14001(国際標準化機構)をベースにした省エネ・省資源・汚染防止などの活動が進められ、

98年10月28日付けでISO14001の認証を取得しました。(1)窒素酸化物を43%低減するボイラーの採用(2)排水のBOD(生物学的酸素要求量)を県基準の半分以下に(3)肉や魚のアラを100%リサイクルする廃棄物の減量など、環境にやさしい生産活動が国際的に認められました。田畑孝工場長は「認証は現場の努力の結晶であり今後も継続して組合員や職員の期待に応えたい」と語りました。なお、ホンマ電機では工場の電機施設の改修に携わっています。



ISO14001の登録書